

女性が知っておきたいこと

子宮頸癌(がん)

子宮頸部とは?

子宮頸部は、子宮の入り口にあたり、膣とつながっています。

子宮頸癌(がん)とは?

子宮頸部の細胞が変化し、制御できないほど成長すると、子宮頸癌(がん)が生じます。これらの細胞は正常から前癌(がん)に、その後、癌(がん)に変化する可能性があります。

癌(がん)にならないようにするには、細胞内の変化を発見し早期に治療する必要があります。

なぜ、女性は子宮頸癌(がん)にかかるのか?

非常に一般的なウイルスであるヒトパピローマウイルス(HPV)が、子宮頸癌の主な原因です。セックス中の皮膚接触によって感染します。

多くの種類のヒトパピローマウイルス(HPV)があります。一部は生殖器のいぼを生じ、その他は子宮頸癌を生じます。

HPVの種類によっては、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症が、自然治癒することもあります。また、子宮頸部の細胞を変える可能性がある種類のヒトパピローマウイルス(HPV)もあります。このような変化が、癌(がん)につながる可能性があります。

その他のリスクは?

以下のような場合は、女性は子宮頸癌(がん)になる可能性があります。

- 不特定多数のパートナーとセックスをしたことがある。
- 不特定のパートナー持っている相手とセックスをしている。
- 喫煙。
- HIVを保持しているか、免疫力が弱い。

この癌(がん)になる確率を高める他のリスクについては、担当医師にお問い合わせください。

この癌(がん)の発生確率を下げするためにできることは?

ヒトパピローマウイルス(HPV)に感染する可能性を下げることができます。

- ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて、お問い合わせください。9～26歳の女兒、及び女性がこのワクチンを接種することができます。
- あなたとだけセックスをするパートナーとセックスしてください。
- セックスパートナーの数を制限してください。
- セックス時には必ず、正しい方法でコンドームを使ってください。

その他にも以下を行うことができます。

- 医師の指示に従い、定期的にパップテストを受けてください。このテストは、子宮頸癌(がん)を調べます。
- 喫煙を控えるか、完全に禁煙してください。

気をつけるべきことは？

子宮頸癌（がん）は場合によって、初期兆候または症状がないことがあります。以下の場合には、すぐに医師の診察を受けてください。

- セックス中及びセックス後に出血する。
- 内診後に出血する。
- 閉経後に出血もしくはおりものがある。
- 骨盤の痛み。
- セックス中に痛みがある。

これらの兆候は、何か他のことによって引き起こされる可能性もあります。確かめるために、担当医師に確認してください。先延ばしにしないでください。あなたの健康が重要です。

あなたにもできることがあります！

子宮頸癌につながる変化を発見し、治療できます。

21 ～ 65 歳のすべての女性は、定期的なパップテストを受けるべきです。あなたが 65 歳を超えている場合、テストを受けるべきかを担当医師にお問い合わせください。

- 健診の頻度については、担当医師にお問い合わせください。
- 21 歳の時になったら、最初のパップテストを受けてください。
- あなたが 21 歳から 65 歳なら、3 年ごとにパップテストを受けてください。
- または、30 歳からは、5 年毎にヒトパピローマウイルス (HPV) テストとともにパップテストを受けることができます。
- あなたのテストによって何がわかるのかは、担当医師にお問い合わせください。必要に応じて、必ずフォローアップケアまたはテストを受けてください。

テストまたは健診はどのように行われますか？

パップテストでは、担当医師が軽く子宮頸部に触れ、いくつかの細胞を採取します。採取した細胞はその後、検査室に送られます。

パップテストの結果が正常でない場合、医師があなたを陰鏡検査に送ることがあります。これは、特殊レンズを用いて子宮頸部を注意深く調べるものです。

場合によって、生検を行う必要があることもあります。医師は子宮頸部の小さな欠片を採取し、癌につながる変化であるかをテストします。

癌（がん）が見つかった場合は？

この癌（がん）を治療するにはいくつかの方法があります。それらの治療法には、手術、放射線療法、化学療法が含まれることがあります。治療が早ければ早いほど、結果は良好です。

- さらに詳しく知るには、担当医師にお問い合わせください。
- 兆候または症状があれば、担当医師の診察を受けてください。
- あなたの健康について質問がありましたら、どんなことでも医師にお尋ねください。

あなたとご家族のために、からだを大切にしてください。

より詳しい情報については、以下をご覧ください。

- U.S. Preventive Services Task Force
www.uspreventiveservicestaskforce.org
- CDC Inside Knowledge Campaign
www.cdc.gov
- National Cancer Institute
www.cancer.gov/cancer
- National Library of Medicine
www.ncbi.nlm.nih.gov